

## 府立春日丘高等学校

## 令和4年度 学校教育自己診断（分析）

- ※ 以下、特に説明の無い数値は肯定的な意見の割合〔単位%〕である。
- ※ （ ）内はR3年度数値。

**【生徒】**

本校を選んだ理由として最も高いのが、「自由な校風だから」が39.5（36.9）である。とりわけ1年生では、昨年度より4ポイント増加している。

授業については、「自分の学力向上に役立っている。」が88.5（86.6）。

進路指導については、「将来について考える機会がある。」が94.7（89.3）であり、総合的な探究の時間を中心としたキャリアデザインの取組みの成果であると考えている。

全体的に肯定的な意見等の割合は増加しており、「学校へ行くのが楽しい」は94（89.9）や「充実した藤蔭祭が工夫されている。」96（84.1）などを見ても、コロナ禍の影響も徐々に減少し、行事や部活動の中で充実感が得られているものと考えている。

**【保護者】**

「進路指導について」74（71.5）、「進路に関する情報の伝わり方」67.1（62.8）など、昨年度に引き続き増加しており、取組みを充実させていきたい。

**【その他】**

教育相談体制については、生徒の「担任以外に気軽に相談できる先生がいる」が70.5（67.2）、「困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が92.5（91.3）、保護者の「連絡、相談したい場合に、電話や懇談などの場を設定している。」が71.9（64.6）と増加している。

一方で、「コロナ禍における対応に関する情報提供」85.9（91.8）、「保護者と学校との意思疎通」83.2（87）、「スクールカウンセラーによるカウンセリング等についての認知」51.0（58.8）は減少しており、情報発信について検討の余地がある。

生徒1人1台端末については、「クロームブックは役立っているか」の問いに対して、生徒56.1（43.1）、保護者では、68（48.2）と、端末の活用が定着してきていることが窺える。来年度リーディングGIGAハイスクールの指定を受け、利活用について研究を進めていく中で、更なる向上をめざしたいと考えている。